

予備審査請求は管轄国際予備審査機関へ直接行わなければならない。2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。  
IPEA/JP

特許協力条約に基づく国際出願

第 II 章

国際予備審査請求書

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求  
選択資格のある全ての国を選択する。ただし、特段の表示がある場合を除く。



国際予備審査機関記入欄

国際予備審査機関の確認	請求書の受理の日
-------------	----------

第 I 欄 国際出願の表示	出願人又は代理人の登録記号 PC-8827
---------------	-----------------------

国際出願番号 PCT/JP03/03007	国際出願日 (日. 月. 年) 13. 03. 03	優先日 (最先のもの) (日. 月. 年) 14. 03. 02
--------------------------	-------------------------------	-------------------------------------

発明の名称  酸化損傷グアニンヌクレオシドの精製方法、その測定方法、及びこれらを実施するための分析装置
---

第 II 欄 出願人	
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)  葛西 宏  KASAI Hiroshi  〒807-0805 日本国福岡県北九州市八幡西区光貞台2-25-5  2-25-5, Mitsusadadai, Yahatanishi-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka 807-0805 Japan	電話番号:  ファクシミリ番号:  加入電話番号:  出願人登録番号:

国籍 (国名): 日本国 JAPAN	住所 (国名): 日本国 JAPAN
--------------------	--------------------

氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)	

国籍 (国名):	住所 (国名):
----------	----------

氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)	

国籍 (国名):	住所 (国名):
----------	----------

<input type="checkbox"/> その他の出願人が続票に記載されている。
--

## 第Ⅲ欄 代理人又は代表者、通知のあて名

下記に記載された者は、☒ 代理人 又は ☐ 代表者 として

☒ 既に選任された者であって、国際予備審査についても出願人を代理する者である。

☐ 今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は代表者は解任された。

☐ 既に選任された代理人又は代表者に加えて、特に国際予備審査機関に対する手続きのために、今回新たに選任された者である。

氏名(名称)及びあて名：(姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載)

6490 弁理士 志賀 正武 SHIGA Masatake

8903 弁理士 渡邊 隆 WATANABE Takashi

〒104-8453 日本国東京都中央区八重洲2丁目3番1号  
2-3-1 Yaesu, Chuo-ku, Tokyo 104-8453 JAPAN

電話番号：

ファクシミリ番号：

加入電信番号：

出願人登録番号：

☐ 通知のためのあて名：代理人又は代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。

## 第Ⅳ欄 国際予備審査に対する基本事項

補正に関する記述：\*

1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。

☒ 出願時の国際出願を基礎とすること。

☐ 明細書に関して ☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

☐ 請求の範囲に関して ☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正(添付した説明書も含む)を基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

☐ 図面に関して ☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

☐ 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。

3. ☐ 出願人は、国際予備審査の開始を所定の日から20日の期間が満了するまで延滞すること希望する(ただし、国際予備審査機関が、特許協力条約第19条の規定に基づいて行われた補正書の受領、又は当該補正を希望しない旨の出願人がその通知を受領した電答を際々(機関)69.1(d))。)(この口は、特許協力条約第19条の規定に基づく期間が満了していない場合にのみ、レ印を付すことができる。)

\*記入がない場合は、1)補正がないか又は国際予備審査機関が補正(原本又は写し)を受領していないときは、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、2)国際予備審査機関が、見解書又は予備審査報告書の作成開始前に補正(原本又は写し)を受領したときは、これらの補正を考慮して予備審査が開始又は続行される。

国際予備審査を行うための言語は 日本語 であり。

☒ 国際出願の提出時の言語である。

☐ 国際調査のために提出した翻訳文の言語である。

☐ 国際出願の公開の言語である。

☐ 国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。

## 第Ⅴ欄 国の選択

出願人は、選択資格のある全ての指定国(即ち、既に出願人によって指定されており、かつ特許協力条約第Ⅱ章に拘束されている国)を選択する。

ただし、出願人は次の国の選択を希望しない。： .....

## 第VI欄 照合欄

この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IVに記載する言語による書類が添付されている。

- |  |   |
|--|---|
| 1. 国際出願の翻訳文                                    | 枚 |
| 2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正書                        | 枚 |
| 3. 特許協力条約第39条の規定に基づく補正書<br>(又は、要求された適合性翻訳文)の写し | 枚 |
| 4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明書<br>(又は、要求された適合性翻訳文)の写し | 枚 |
| 5. 書簡  | 枚 |
| 6. その他 (書類名を具体的に記載する) :                        | 枚 |

## 国際予備審査機関記入欄

受 領

未 受 領

☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐

この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 手数料計算用紙             | 3. <input type="checkbox"/> 包括委任状の原本              | 7. <input type="checkbox"/> その他 (書類名を具体的に記載) : |
| <input checked="" type="checkbox"/> 納付した手数料に相当する特許印紙を   | 4. <input type="checkbox"/> 包括委任状の写し (あれば包括委任状番号) |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 国際事務局の口座への振込を証明する書面 | 5. <input type="checkbox"/> 記名押印 (署名) の欠落についての説明書 |  |
| 2. <input type="checkbox"/> 個別の委任状の原本                   | 6. <input type="checkbox"/> コンピュータ読み取り可能な形式による配列表 |  |

第VII欄 出願人、代理人又は代表者の記名押印  
各人の氏名 (名称) を記載し、その次に押印する。

志賀 正武

渡邊 隆



## 国際予備審査機関記入欄

国際予備審査請求書の実際の受理の日

2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付

3. ☐ 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理。ただし、以下の4、5の項目にはあてはまらない。 ☐ 出願人に通知した。4. ☐ 規則 80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内の国際予備審査請求書の受理5. ☐ 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。

## 国際事務局記入欄

国際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受理の日: